

政策名	1グローバルロジスティクスの港		責任者	企画調整室 コンテナターミナル再編 担当課長	連携担当課
基本施策名	01国際・国内海上輸送機能の強化				
個別施策名	08伊勢湾内の連携を強化する		連絡先	052-654-7906	
事務事業名	01伊勢湾スーパー中枢港湾連携施策の推進				

1 PLAN(目的・概要)

目的	伊勢湾スーパー中枢港湾連携推進協議会を通して、スーパー中枢港湾育成プログラムで掲げた連携施策を実施し、伊勢湾全体の物流機能を強化します。	事業期間	平成17～22年度
概要	国、四日市港管理組合及び本組合等で構成する伊勢湾スーパー中枢港湾連携推進協議会の運営を事務局の一員として行います。	根拠法令・要綱等	
		実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

2 DO(実施)

21年度の実施内容 【及び22年度の実施予定】	伊勢湾スーパー中枢港湾として、国際競争力を強化する目的で設立された伊勢湾スーパー中枢港湾連携推進協議会を国等と共同で開催し、平成21年度は幹事会が1回開催されました。							
活動指標	年度	19	20	21	22	最終目標	22	備考(指標の算定方法など)
協議会・幹事会の開催回数	単位	目標	4	4	4	4	4	伊勢湾スーパー中枢港湾連携推進協議会は、国際コンテナ戦略港湾選定にかかる検討の中で、協議会の組織が改編されているため、平成22年度は伊勢湾連携協議会(仮称)としての開催回数を活動指標とします。
	回	実績	4	4	1			
	単位	目標						
		実績						
事業費	千円	0	0	0	0			
	人員	正規職員	人	1.10	1.10	0.70	0.25	
人員	嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	人件費相当額	千円	9,554	9,647	6,007	2,195		
事業費・人件費の合計	千円	9,554	9,647	6,007	2,195			

3 CHECK(検証)

決算ベース(H21は見込) ← 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	最終目標	22	備考(指標の算定方法など)	
連携施策の実施件数	単位	目標	1	1	1	1	1	伊勢湾スーパー中枢港湾育成プログラムで掲げた施策の達成件数を実績としています。	
	件	実績	1	2	1				
	達成率(%)	100.0	200.0	100.0					
	単位	目標							
		実績							
	達成率(%)								
観点	課題の有無	現状の「見える化」						その他特記事項	
必要性	組合関与の必要性	有・ 無	・伊勢湾スーパー中枢港湾の施策として、港湾管理者同士の連携が有効であり、本組合が主体となって関与する必要があります。						
	目的・水準の妥当性	有・ 無	・国際コンテナ戦略港湾選定に向けた計画書についても、四日市港管理組合とともに伊勢湾として作成しており、今後も連携施策を進める必要があると考えています。						
有効性	利用者などの対象者ニーズ	有・ 無							
	成果の達成度	有・ 無	・国際コンテナ戦略港湾選定に向けた計画書作成においても、一港化を視野に入れた具体的な連携施策を記載しており、伊勢湾の連携に向けて前進していると考えています。						
効率性	内容の妥当性	有・ 無							
	実施主体の妥当性	有・ 無							
	受益者負担の適正性	有・ 無	・実施主体としては、四日市港管理組合とともに、港湾管理者である本組合が取り組むべきと考えており、効率性でも適正であると考えています。						
	経済性	有・ 無							

4 ACTION(取組)

事務事業の方向性	取組の方向性(「継続」「延伸」事業のみ)				判断の理由
<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 延伸 <input checked="" type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 休廃止	成果	拡大			組織、体制を見直して実施していく必要があるため。
		維持			
		縮小			
		縮小	維持	拡大	
		コスト			
今後の取組内容	本事務事業は、平成22年度で終了しますが、今後、一港化を視野にいれた名古屋港、四日市港の連携の取組を深化するため、伊勢湾スーパー中枢港湾連携推進協議会を発展改組した伊勢湾連携協議会(仮称)において、引き続き両港の連携施策を検討します。				
・改善策 ・スケジュールの建て直し等					